



# 救え、沖縄・泡瀬干潟とサンゴの海!

緊急シンポジウム

干潟・湿地を守る日2009参加イベント

判決無視の埋め殺し工事をストップさせよう!!

沖縄本島東海岸に位置する泡瀬干潟は、砂・泥・海藻藻場・サンゴ礁など多様な環境を有し、貝類、甲殻類、ゴカイなどの底生生物、海草、サンゴ、鳥類、魚類など、そこにすむ生物の多様性は国内有数、生物量も大きく絶滅危惧種や新種が多数生息するなど世界自然遺産にもなりうる重要な環境です。

そんな生きものの楽園が、今、土砂で埋め殺されようとしています。

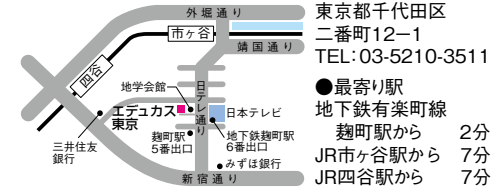
沖縄県と沖縄市が計画している海洋リゾート事業と、そこに隣接する新港地区で内閣府沖縄総合事務局が実施している港湾整備が一体となった中城湾港の開発整備事業。港湾整備で排出される浚渫土砂が泡瀬干潟地区のサンゴの海に投入されているのです。

ずさんな環境アセスメントのあと開始された埋め立て事業は、昨年11月の那覇地裁判決において、経済的合理性がないと厳しく指摘され、県と市に公金支出の差し止めが命じられました。しかし、国は、この判決を無視して、1月中旬より干潟への土砂投入を進めてしまいました。

このシンポジウムは、泡瀬干潟で今起こっていることを検証し、無駄な開発事業から泡瀬干潟とサンゴの海を救うために、私達に何ができるかを考えていきます。各党からの国会議員にもお集まりいただき、政治解決の道を探っていきます。



●日時：2009年 **3月17日(火)**  
18:30~21:00 (開場18:15予定)  
●場所：**エデュカス東京** (全国教育文化会館)  
7階大会議室 (定員180名)



- 参加費(会場と資料代)：一般1000円/学生500円
- 主催：泡瀬干潟を守る東京連絡会  
泡瀬干潟大好きクラブ
- 後援：泡瀬干潟を守る連絡会/ (財)日本自然保護協会  
(財)日本野鳥の会/WWFジャパン  
ラムサールCOP10のための日本NGOネットワーク

- 主な内容
- 泡瀬地区埋め立て問題の解説  
前川 盛治 (泡瀬干潟を守る連絡会事務局長)
  - 泡瀬干潟の生物多様性と保全の意義  
山下 博由 (泡瀬干潟生物多様性研究会代表)
  - 埋立事業ありきの環境アセスメントと市民参加の欠落  
開発 法子 (日本自然保護協会保全研究部長)
  - 沖縄出身歌手による唄  
知念 良吉 (シンガーソングライター・沖縄市コザ出身)
  - 各党議員を交えてのパネルディスカッション  
「泡瀬干潟を無駄な埋め立て事業から救うために」
  - 干潟・湿地を守る日宣言

【問い合わせ先】  
陣内 隆之 (泡瀬干潟を守る東京連絡会)  
TEL: 090-8179-2123 FAX: 04-7154-5629  
Email: bi5t-jnni@asahi-net.or.jp  
〒270-0115 千葉県流山市江戸川台西4-110  
水野 隆夫 (泡瀬干潟大好きクラブ)  
TEL: 090-1944-0345  
Email: mahodoriz@orange.zero.jp